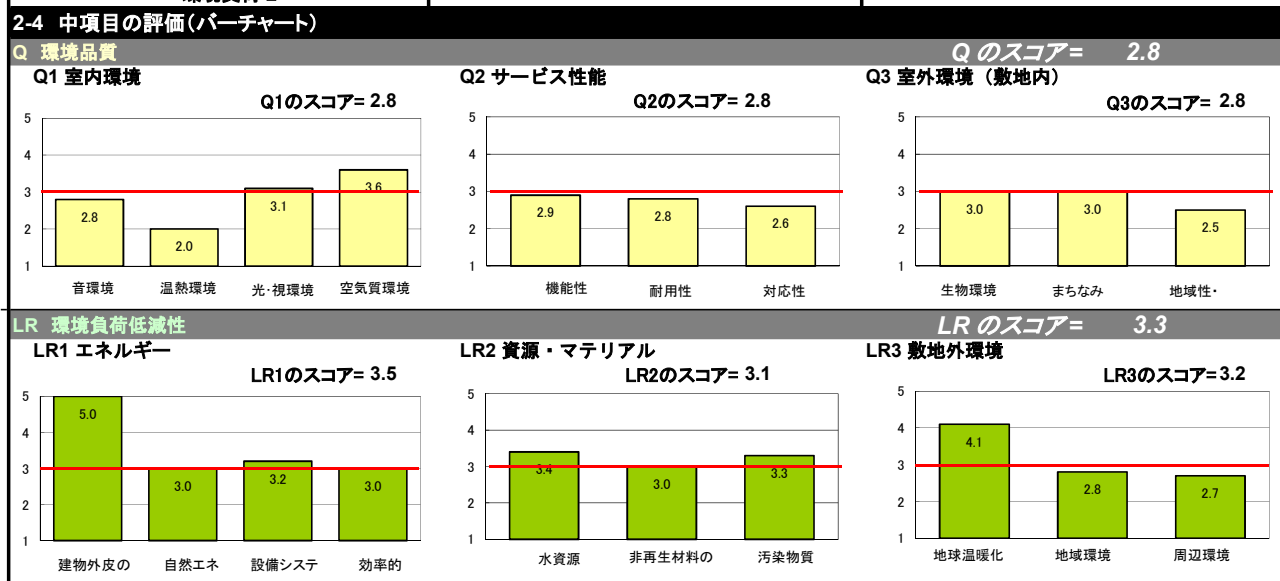
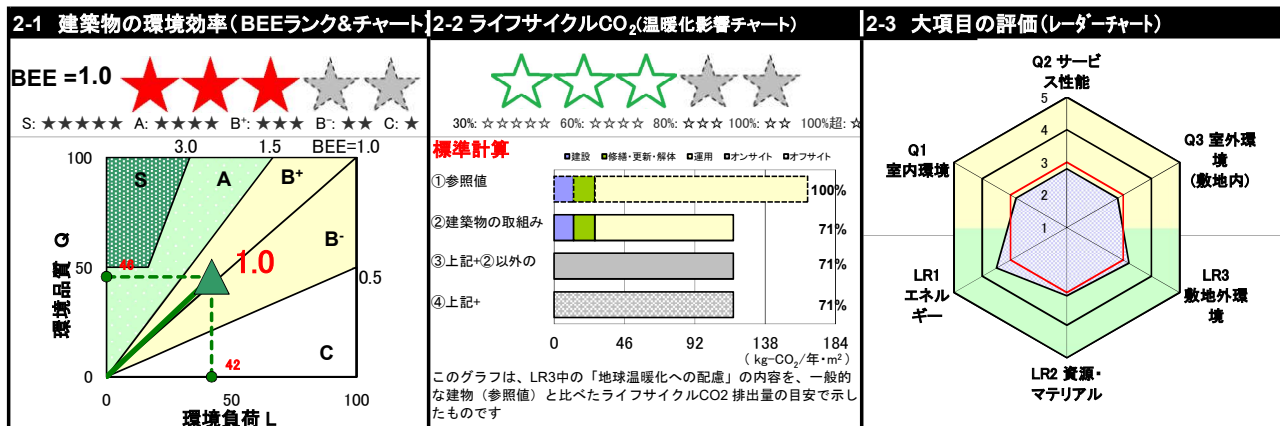
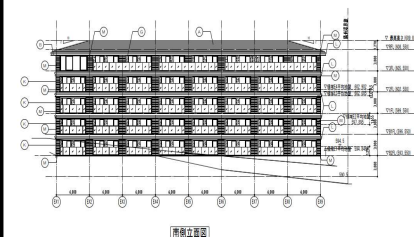


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箱根強羅ホテルコンドミニアム計画(東棟)	階数	地上3F地下2F
建設地	神奈川県足柄下郡箱根町強羅字強羅 1300-81,82	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	76 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2024年7月8日
敷地面積	9,422 m ²	作成者	㈱松田平田設計 横浜事務所
建築面積	848 m ²	確認日	2024年7月23日
延床面積	4,132 m ²	確認者	㈱松田平田設計 横浜事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 公園上駅から徒歩で約5分の第1種住居地域にホテルを計画した。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上 カーテンと庇を組み合わせてグレアを制御します。 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 客室: ツイン40m以上。 ケーブルラックにより仕上げ材を痛めることなく更新・修繕可能	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI _{lm} = 0.67 BEI _{lm} = 0.65、LED照明設備を導入。	LR2 資源・マテリアル GL工法を使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率71%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される